

# 地域拠点プロジェクト 友政麻理子「よろっとなすベースキャンプ」

主催：とよさかベースキャンプ



貸し借りにまつわる縁とそのエピソード



## 借りたものは形あるものだけでなく、その繋がりが物語を創り出す

現代美術家・映像作家である友政麻理子氏を招聘し、「貸し借り」が生む縁をテーマにした映像と写真による「よろっとなすベースキャンプ」というアートプロジェクトを開催した。作品は一般の方を対象に最終的に51名の方の「貸し借りのエピソード」を頂くことが出来た。それらを自分自身に置き換え鑑賞していただいた方から更なるエピソードを聞くことがとても多く、想像以上の広がりを実感することが出来た。「縁」をテーマにしながら、写真撮影をさせていただいたこと、貸し借りのお話を直接お伺いできたことが、会場とのあらたな繋がりを生む機会にもなった。それは市民プロジェクトの地域拠点としての一番の成果とも言えると思う。

「貸し借りのエピソード」が多くの共感を得たのだと思う。参加者や見学者の複数の方から、冊子にしてほしいとの希望があった。

貸す側と借りる側の想いは違っても「貸し借りのエピソード」は常に多くの思い出や当時の人間関係、その頃好きだったことなど、さまざまな記憶を呼び起こす。貸し借りした物の有形・無形に関わらず、そこには必ず物語がある。このアートプロジェクトを通じて、人の出会いや繋がりを再認識することが出来たようである。

多くの方が、鑑賞後に借りた物を自分も思い出してみたいと感想を述べていたのも印象的だった。これをキッカケに再度つながった方がいるかは確認できないが、少なくとも私は、相手が元気にされていることを知ることができた。それはSNSというネットワークのおかげであると言える。そんな繋がりが「人を豊かにする」のだと思えたプロジェクトになった。

(文：小比田)

- 7月16日(月・祝) よろっとなす日1 (とよさかベースキャンプ)
- 8月5日(日) よろっとなす日2 (とよさかベースキャンプ)
- 9月9日(日) よろっとなす日2.5 (とよさかベースキャンプ) 他3件